

2014年度 第1四半期 決算説明会

富士フイルムホールディングス株式会社

2014年7月30日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2014年度第1四半期 決算 概要

FUJIFILM

2014年度第1四半期 業績（2014年4月～6月）

（単位：億円）

	2013年度1Q	2014年度1Q	対前年度
売上高	5,687 100%	5,584 100%	-103 -1.8%
営業利益	251 4.4%	298 5.3%	47 +18.8%
税金等調整前 四半期純利益	303 5.3%	299 5.3%	-4 -1.5%
当社株主帰属 四半期純利益	150 2.6%	154 2.8%	4 +2.8%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	31.03円	31.88円	0.85円
為替 :米ドル	99円	102円	3円安
:ユーロ	129円	140円	11円安

セグメント別：連結売上高／営業利益

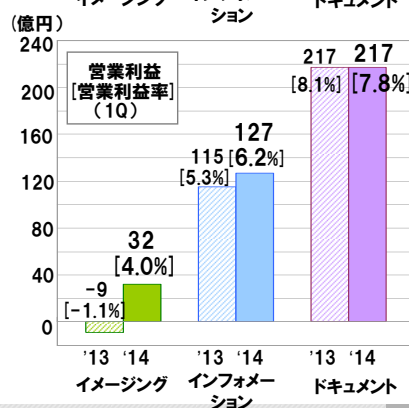
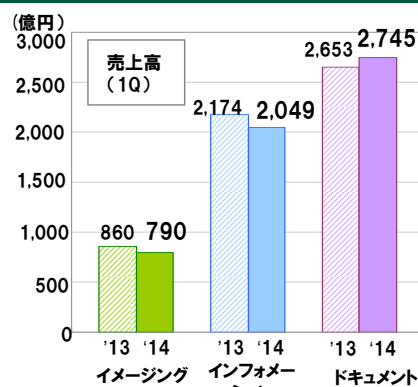
(単位:億円)

売上高	1Q		対前年度
	2013年度	2014年度	
イメージング	860	790	-70 (-8.1%)
インフォメーション	2,174	2,049	-125 (-5.8%)
ドキュメント	2,653	2,745	92 (+3.5%)
合計	5,687	5,584	-103 (-1.8%)

*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

営業利益	1Q		対前年度
	2013年度	2014年度	
イメージング	-9	32	41 (黒字化)
インフォメーション	115	127	12 (+10.3%)
ドキュメント	217	217	-0 (-0.0%)
全社/連結調整	-72	-78	-6
合計	251	298	47 (+18.8%)



3

セグメント別 概況

(単位:億円)

■ イメージング ソリューション

売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
790	-70 (-8.1%)	32	41 (黒字化)

- フォトイメージングではインスタントカメラの販売が引き続き好調。

「Year Album」などの付加価値プリントビジネスが拡大。

- 電子映像では、コンパクトデジタルカメラのラインアップを縮小し、販売台数が減少したことにより売上全体は減少したものの、Xシリーズの販売が好調に推移し、高級機種へのシフトの進捗は順調。

- 光学デバイスでは、スマートフォン用カメラモジュールの販売が減少したものの、テレビカメラ用レンズなどの販売は堅調に推移。

減収となったものの、インスタントカメラの販売好調や、デジタルカメラの損益改善により、黒字を確保

4

セグメント別 概況

(単位:億円)

■ インフォメーション ソリューション

売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
2,049	-125 (-5.8%)	127	12 (+10.3%)

- ヘルスケアのうち、メディカルシステムは国内での消費税増税による駆け込み需要の反動影響を受けたものの、超音波診断装置などの販売が海外を中心に好調に推移。医薬品では、国内の抗菌薬市場全体が低調に推移する中で富士化学の「ゾシン」の販売は堅調に推移。
- フラットパネルディスプレイ材料は、デスクトップモニターの需要低迷や在庫調整の影響などによりWVフィルムの販売が減少したことに加え、販売が堅調に推移した液晶TV向けフィルムも前年同期が中国・北米でテレビ需要が旺盛だったことから、売上が減少。
- グラフィックシステムでは、国内での消費税増税による駆け込み需要の反動影響を受けたものの、欧州市場での販売が堅調に推移。
- 産業機材では、タッチパネル用センサーフィルムなどの一部販売遅れなどによって、売上が減少。電子材料では幅広い製品の販売が各地域で伸長し、売上が増加。

FPD材料の売上減少などの影響で減収となったものの各事業の収益性が改善したことなどにより、増益

5

セグメント別 概況

(単位:億円)

■ ドキュメント ソリューション

売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
2,745	92 (+3.5%)	217	-0 (-0.0%)

- オフィスプロダクトの販売台数は、国内では前年度後半の需要増の反動や前年同期の大型案件の影響等により減少したものの、アジア・オセアニア地域ではモノクロ機、カラー機ともに増加。
- オフィスプリンターは国内、アジア・オセアニア地域においてモノクロ機の販売が増加。米国ゼロックス社向け輸出は、カラー機が好調で販売台数が増加。
- プロダクションサービスでは、国内、アジア・オセアニア地域での販売台数が減少したものの、米国ゼロックス向け輸出では販売台数が増加。
- グローバルサービスは、国内、アジア・オセアニア地域において増収。国内では、MPSビジネスが好調に推移し、新たに連結対象となった富士ゼロックスサービスリンク株式会社の売上也寄与して増収。

販売価格の下落と販売ミックスの変化による影響等をグローバルサービスの成長と経費効率化等の改善により補い、営業利益は前年同期並み

6

連結貸借対照表

(単位:億円)

	12年度末	13年度末	14年6月末	対13年度末
現金及び現金同等物	4,454	6,046	6,322	276
受取債権	5,889	6,368	5,595	-773
棚卸資産	3,999	3,637	3,788	151
有価証券 その他流動資産	1,271	1,566	1,780	214
流動資産計	15,613	17,617	17,485	-132
有形固定資産	5,461	5,303	5,242	-61
営業権	4,122	4,231	4,219	-12
投資有価証券 その他資産	5,400	5,119	5,080	-39
固定資産計	14,983	14,653	14,541	-112
資産合計	30,596	32,270	32,026	-244

	12年度末	13年度末	14年6月末	対13年度末
長短社債 及び借入金	3,583	3,597	3,423	-174
支払債務	2,510	2,659	2,475	-184
その他流動 固定負債	4,255	4,032	4,053	21
負債計	10,348	10,288	9,951	-337
株主資本計	18,689	20,206	20,299	93
非支配持分	1,559	1,776	1,776	0
純資産計	20,248	21,982	22,075	93
負債・純資産 合計	30,596	32,270	32,026	-244

(単位:円)

期末日 為替レート	12年度末	13年度末	14年6月末	対13年度末
米ドル	94	103	101	2円高
ユーロ	121	142	138	4円高

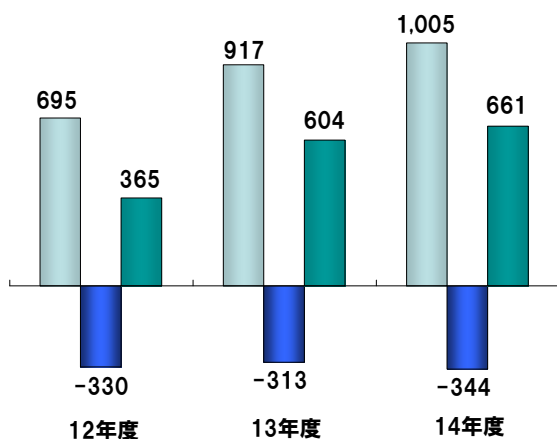
7

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー

キャッシュ・フロー(1Q)



	12年度1Q	13年度1Q	14年度1Q
四半期純利益	62	195	191
減価償却費	336	334	291
受取債権の増(-)減(+)	578	442	744
棚卸資産の増(-)減(+)	-262	-113	-166
営業債務の増(+)-減(-)	-183	-36	-134
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	164	201	190
その他	0	-106	-111
営業活動によるCF	695	917	1,005
設備投資	-217	-196	-160
ソフトウェアの購入	-36	-48	-40
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	56	9	-90
その他	-133	-78	-54
投資活動によるCF	-330	-313	-344
フリー・キャッシュ・フロー	365	604	661
営業活動によるCF+設備投資	478	721	845

8

2014年度 連結業績予想 (2014年7月30日時点)

(単位:億円)

	2013年度	2014年度 (予想)	対前年度
売上高	24,400 100.0%	24,600 100.0%	200 +0.8%
営業利益	1,408 5.8%	1,600 6.5%	192 +13.6%
税金等調整前 当期純利益	1,572 6.4%	1,600 6.5%	28 +1.8%
当社株主帰属 当期純利益	810 3.3%	850 3.5%	40 +4.9%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	168.07円	176.36円	8.29円
為替 :米ドル	100円	100円	-
:ユーロ	134円	135円	1円安

*2014年度 営業利益 為替感応度 米ドル:10億円、ユーロ8億円 原材料価格(銀): 80,000円/kg

80th
Anniversary

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>

参考資料

1Q 業績

■ イメージング ソリューション

(単位:億円)

売上高	2013年度1Q	2014年度1Q	対前年度
フォトイメージング	485	489	4 (+0.9%)
電子映像	206	175	-31 (-15.4%)
光学デバイス	169	126	-43 (-25.1%)
光学・電子映像	375	301	-74 (-19.8%)
合計	860	790	-70 (-8.1%)

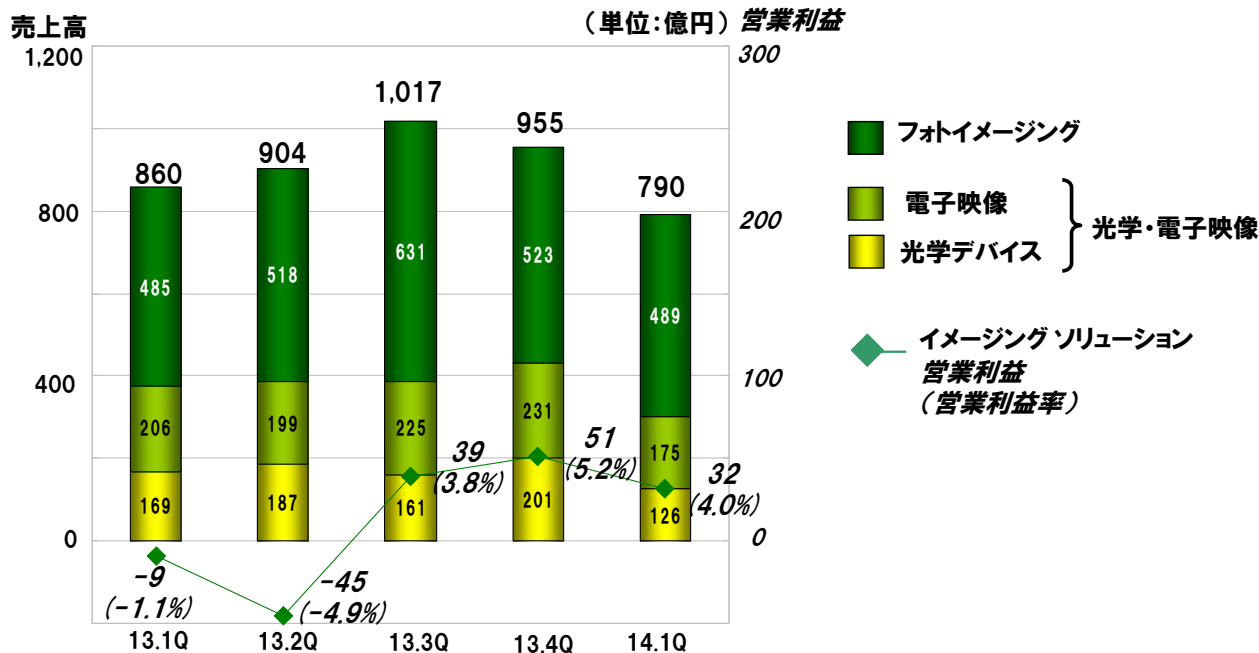
*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	2013年度1Q	2014年度1Q	対前年度
イメージング ソリューション	-9 [-1.1%]	32 [4.0%]	41 (黒字化)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ イメージング ソリューション



*セグメント間取引消去後

1Q 業績

■ インフォメーション ソリューション

(単位: 億円)

売上高	2013年度1Q	2014年度1Q	対前年度
ヘルスケア	797	768	-29 (-3.7%)
グラフィックシステム	660	652	-8 (-1.2%)
フラットパネルディスプレイ材料	400	304	-96 (-24.1%)
記録メディア	109	105	-4 (-3.9%)
産業機材/電子材料他	208	220	12 (+5.8%)
合計	2,174	2,049	-125 (-5.8%)

*セグメント間取引消去後

(単位: 億円)

営業利益 [営業利益率]	2013年度1Q	2014年度1Q	対前年度
インフォメーションソリューション	115 [5.3%]	127 [6.2%]	12 (+10.3%)

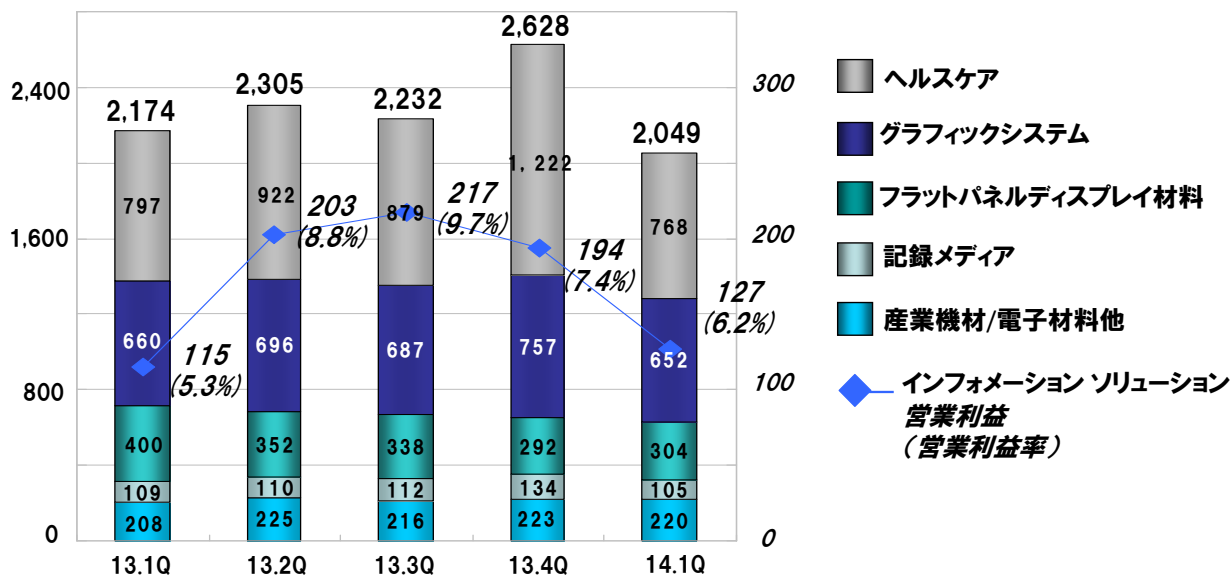
セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)

売上高

営業利益



*セグメント間取引消去後

1Q 業績

■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)

売上高	2013年度1Q	2014年度1Q	対前年度
オフィスプロダクト	1,277	1,266	-11 (-0.9%)
オフィスプリンター	422	436	14 (+3.4%)
プロダクションサービス	359	343	-16 (-4.3%)
グローバルサービス	339	399	60 (+17.6%)
その他	256	301	45 (+17.8%)
合計	2,653	2,745	92 (+3.5%)

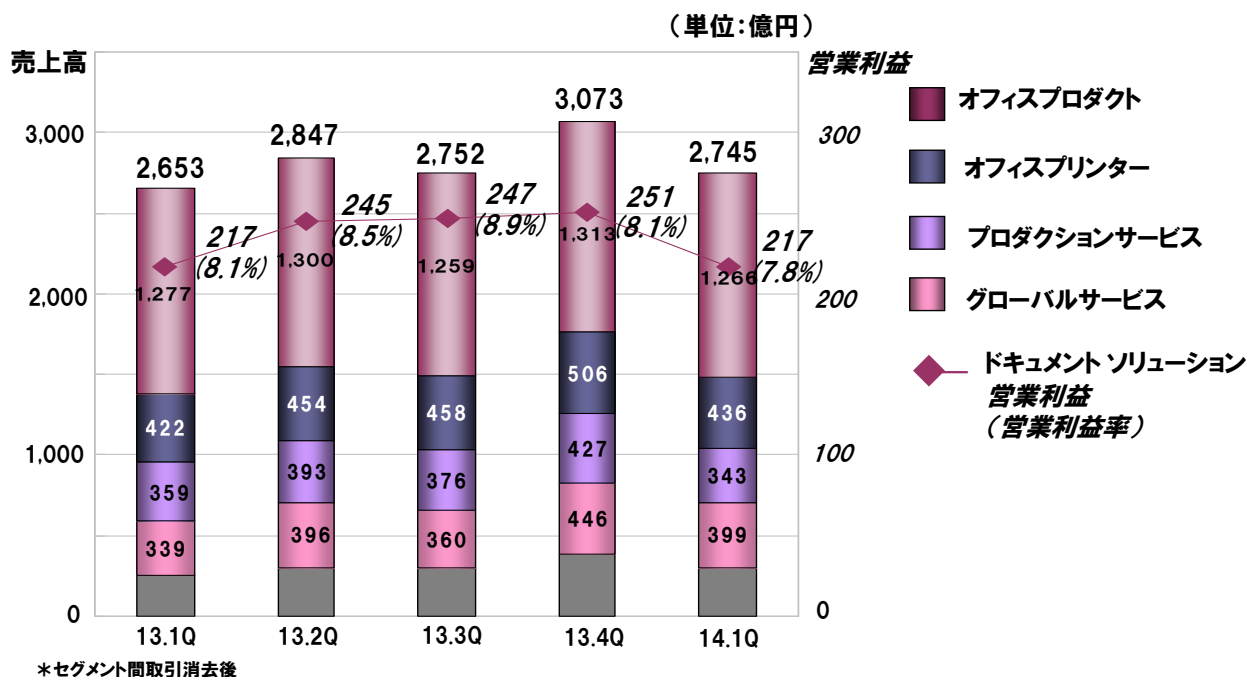
*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	2013年度1Q	2014年度1Q	対前年度
ドキュメントソリューション	217 [8.1%]	217 [7.8%]	-0 (-0.0%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメント ソリューション



国内・海外別連結売上高

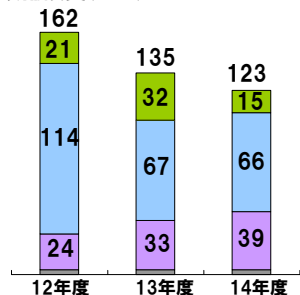
(単位:億円)

	2013年度1Q		2014年度1Q		対前年度	
	構成比 (%)		構成比 (%)			
日本	41.1%	2,338	40.3%	2,253	-85	(-3.7%)
米州	18.2%	1,037	18.5%	1,035	-2	(-0.3%)
欧州	12.0%	683	12.9%	720	37	(+5.5%)
内、中国	11.1%	633	10.7%	592	-41	(-6.5%)
アジア他	28.7%	1,629	28.3%	1,576	-53	(-3.2%)
海外	58.9%	3,349	59.7%	3,331	-18	(-0.5%)
合計	100.0%	5,687	100.0%	5,584	-103	(-1.8%)

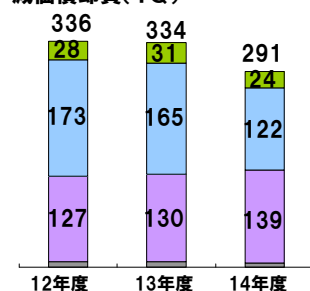
設備投資、減価償却費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

設備投資(1Q)



減価償却費(1Q)



(単位:億円)

	2012年度		2013年度		2014年度	
	1Q	通期	1Q	通期	1Q	通期 (予想)
イメージング	21	99	32	93	15	
インフォメーション	114	399	67	324	66	
ドキュメント	24	248	33	239	39	
コーポレート	3	21	3	14	3	
設備投資 ※	162	767	135	670	123	750
イメージング	28	133	31	135	24	
インフォメーション	173	718	165	686	122	
ドキュメント	127	531	130	561	139	
コーポレート	8	33	8	32	6	
減価償却費	336	1,415	334	1,414	291	1,200
有形固定資産の減価償却費 ※	209	934	206	907	157	750

*ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

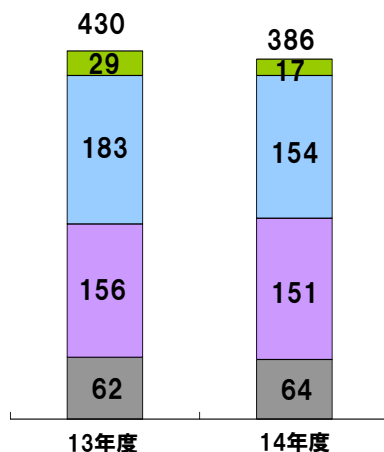
*2014年度より、減価償却方法を変更しております。

19

研究開発費、販売費および一般管理費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

研究開発費(1Q)



(単位:億円)

	2013年度		2014年度	
	1Q	通期	1Q	通期 (予想)
イメージング	29	61	17	-
インフォメーション	183	675	154	-
ドキュメント	156	634	151	-
コーポレート	62	274	64	-
研究開発費	430	1,644	386	1,650
<売上高比>	7.6%	6.7%	6.9%	6.7%
販売費及び一般管理費	1,525	6,159	1,498	-
<売上高比>	26.8%	25.2%	26.9%	-

20

為替、原材料価格、人員

為替

(単位:円)

	2013年度					2014年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期(予想)
米ドル	99	99	101	103	100	102	100
ユーロ	129	131	137	141	134	140	135

*2014年度 営業利益 為替感応度 米ドル:10億円、ユーロ8億円

原材料価格

(平均)

(単位:千円/kg)

	2013年度					2014年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	通期(予想)
銀	78	68	68	67	71	65	80

人員

(単位:人)

	2013.6末	2013.9末	2013.12末	2014.3末	2014.6末
連結	79,965	79,837	80,113	78,595	79,192

21

パイプライン

開発番号	薬効	剤形	地域	開発段階	備考
T-705	抗インフルエンザウイルス薬	経口	米国	PIII実施中	国防省の助成金により臨床試験実施中 国内はアピガン錠として承認済み
T-3811	キノロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認申請中	国内はジェニナック錠として上市済み
T-2307	抗真菌薬	注射	米国	PI終了	
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	PII実施中	Alzheimer's Disease Cooperative Studyと臨床試験実施中
			日本	PII実施中	京都大学iPS細胞研究所との共同研究によりバイオマーカーの探索・特定を目指す
T-4288	マクロライド系抗菌薬	経口	日本	PI実施中	
バイオ ITK-1	抗がん剤(前立腺がん)	注射	日本	PIII実施中	
FF-10501	抗がん剤(血液がん)	経口	日本	PI実施中	
			米国	PI準備中	
バイオ FF-21101	抗がん剤(難治性固形がん)(Armed抗体)	注射	米/欧/日	非臨床試験実施中	MDアンダーソンがんセンター(米国)と臨床開発推進中
FF-10502	抗がん剤(難治性固形がん)	注射	米/欧/日	非臨床試験実施中	
F-1311	放射性医薬品(前立腺がん診断用)		日本	PI実施中	

*持分法適用会社の協和キリン富士フィルムバイオロジクスのFKB327(アダリムマブバイオシミラー)は、欧州でPI実施中。

22

参考情報

富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

富士フィルムホールディングス アニュアルレポート2014

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/annual_reports/2014/index.html

IRイベント資料

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html

・事業説明会資料

- － 2013年 11月 メディカルシステム事業説明会
- － 2013年 11月 医薬品事業説明会

富士フィルムってどんな会社？

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual/guidance/index.html>